

# 山吹下河原未来ビジョン(案)地域住民説明会

## 会議記録

日時 令和6年5月29日(水)午後7時～ 福祉センター大ホール

出席者 参加者 7名

町 建設課 多田井課長、岩崎課長補佐、高田主査、矢澤主任

産業課 下原農業振興係長、

受託者 3名

---

以下、会議内容

---

### 1. 開会・あいさつ

■多田井 建設課長

### 2. 自己紹介

### 3. 説明

■岩崎 建設課課長補佐 …資料説明

#### 【質疑】

■参加者1

昨日の山吹区民を対象とした地域住民説明会ではどのような説明をされたか。

■岩崎 建設課課長補佐

昨日は山吹区の住民を対象に呼びかけ、23名の出席があった。内容については本日と同様である。主に出た意見として、「自然を大切にしてほしい」「住民の声だけでなく、自然の声にも耳を傾けてほしい」「ほたるパークという名称を使う以上、ホタルの保護についても考えてほしい」という意見が出された。また、「具体的な進め方や整備方針についてどのように考えているのか」という意見もいただいた。

本ビジョンは10年20年後の将来を見据えており、概要版「⑧未来ビジョン実現への具体的な取り組み」で示している項目を基として、具体的に動く段階に入る際には、地域住民の方を含め再度ご意見をいただきながら進めていきたいという回答をさせていただいた。

### ■参加者1

現状では家の前に田んぼが広がっており、とても暮らしやすく思っている。田んぼを管理する農家や後継者の問題、地主の意向などから、将来的には宅地化していきたいという意見があることも承知しているし、仕方がないことであると思っている。しかし、個人的な意見として、商業施設や住宅地など、このビジョン通りに造られていったとしたら残念に思う。

現状維持や発展を望まないという意見も少なからずあったのではないかと思う。発展を望む意見だけを拾い上げ、計画に織り込まれているような感じがしており、疑問に感じる。

### ■岩崎 建設課課長補佐

ワークショップ等でそのようなご意見もあったが、策定委員会や庁内検討委員会等で一つのビジョンにまとめていく過程の中で、多く出された意見を反映させていただいた。ただ、住民の方それぞれに思いがあることも承知しており、具体的に商業地化や住宅地化の検討を行う段階に入る場合は再度議論を重ねていきたいと考えている。

### ■参加者1

地域住民説明会の参加人数について、昨日（5/28 山吹区民対象）は23人、今日は7人である。これで多くの人の意見を聴いたということになるのか。声を上げるわずかな人の声しか聴いていないのではないか。今日の説明会もこれからを担う世代の出席は少ない。周知を行っても来ないから仕方がないのかもしれないが、意見の汲み取り方を工夫して、本当の意味で多くの人の意見を聴いてほしい。

### ■多田井 建設課長

まちづくりについて、住民の方に興味を持っていただくということは永遠のテーマであると思っている。本ビジョン策定にあたっては、地区別のワークショップを開催し、参加できなかった地域の皆さまからも意見をいただけるよう、ワークショップ結果をお示しし、アンケート形式による意見照会を実施した。次世代を担う子育て世代については、北小学校PTAや山吹保育園保護者会にご協力をいただき、ワークショップを開催してご意見をいただいた。また、高森北小学校の児童の方のご意見もいただいた。これらの声についても本ビジョンに反映させていただいたつもりである。まだ不十分だとのことご意見もあるかと思うが、他の行政と比べても、より多くの住民の方の声を聴き、反映させることができたのではないかと思っている。

「より多くの住民の方の意見を聴く」ということに十分に配慮し、本ビジョンを策定してきたという点についてはご理解をいただきたい。

## 4. 閉会

## 5/29 説明会の状況



建設課長あいさつ



事務局より説明



説明会の様子



説明会の様子



説明会の様子